# 11月の園だより

朝夕の冷え込みに、日増しに秋の深まりを感じる季節となりました。子どもたちの服装にも長袖が増え、季節の移り変わりを肌で感じているようです。１１月は、木々の葉も色づき、いよいよ本格的な秋の訪れとなります。戸外やお散歩でのびのびと体を動かして遊ぶとともに、深まる自然の中での体験を通して、豊かな感性や表現力を育んでまいります。また、乾燥や朝晩の寒暖差がより大きくなる時期でもあります。手洗い・うがいの習慣を大切にしながら、一人ひとりの体調管理に十分留意して保育を進めてまいります。ご家庭におかれましても、衣服の調整など、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。



## 11月の予定

| | | | |
|---|---|---|---|
| ６日(金) | 幼年消防 | 11・12(水・木) | 発育測定 |
| ７日(土) | 親子遠足 | ２０日(金) | 弁当の日 |
| １１日(水) | パンの日 | ２７日(金) | 誕生会 |

### お知らせ

★みかん組担任の河野瞳果保育教諭が 12 月から産前産後休業および育児休業に入ることになりましたのでお知らせします。
休業に伴い、12 月からは古澤合加里保育教諭が引き継ぐ予定です。

### イベントのお知らせ

★さどわら健康ふくしまつり　　11 月 29 日(日)佐土原町社会福祉協議会
１０:００～１５：００（小雨決行）
当日はステージイベントやふくしバザーなど楽しい催しが開催されます。
那珂こども園もブースを設けますのでぜひ遊びに来てくださいね！



## いつも「お昼寝布団」のご準備ありがとうございます

子どもたちにとってお昼寝の時間は午前中の疲れを癒し、午後の活動に向けてエネルギーチャージする大切な時間です。

毎日ぐっすり気持ちよく眠れるよう、園も室温や環境に気を配っておりますが、子どもたちが直接肌に触れるお布団の清潔さも、快適な睡眠には欠かせません。

大変お忙しい毎日とお察しいたしますが、布団を持ち帰った週末やお休みの日にはお布団カバーのお洗濯・天日干しなどを行っていただき、きれいで気持ち良い状態でお持ちくださいますようお願いいたします。

汗をかく時期はもちろんのこと、一年を通して清潔な布団で休むことは、子どもたちの健康維持や感染症予防にもつながります。

お子さまが毎日心地よく園生活を送れるよう、ご家庭での温かなご協力をお願い申し上げます。

第8回目のコラムは♡



### ～「小さな工夫」が育む、豊かな発想力と解決力～

秋が深まり、どんぐりや落ち葉など、自然の宝物がたくさんの季節になりました。子どもたちは、落ち葉を「お皿」に見立てたり、どんぐりを「ごはん」に見立てたりしながら、ごっこ遊びに夢中になっています。

一見シンプルに見える遊びの中には、以下のような大切な育ちが詰まっています。

★発想力・見立てる力「これ何に見えるかな？」と自由な発想で身近なものを別のものに変化させる柔らかい心が育ちます。

★工夫する力と問題解決力「組み立てた葉っぱが倒れちゃった」「どうしたら上手く乗るかな？」と、自分の手と頭を使って何度も試す力につながります。

★共感力・社会性「これ、どうぞ！」「ありがとう！」と、なりきり遊びを通して他者の気持ちに寄り添うコミュニケーションが生まれます。

ご家庭でも、お子さまが遊んでいるときに「何を作っているの？」と問いかけたり、少し不器用な工夫でも「おもしろいアイデアだね！」とプロセスを認めてあげたりしてみてください。「完璧な完成品」を作ることよりも、「自分なりに工夫して遊べた過程」こそが、これからの自立心の大きな根っこになります。

子どもたちの「こうしてみよう！」という創意工夫の芽を、ご家庭と一緒に温かく見守っていきたいと思います。



## 「きらきら♡はっぴーフェスタ」開催のお礼



先月は「キラキラハッピーフェスタ」にご参加いただき、温かいご声援を本当にありがとうございました。

今年度はこれまでの「運動会」から名称を新たに改め、異年齢での関わりを中心としたプログラムへと大きな一歩を踏み出しました。異年齢ならではの温かい協力の姿や、年上の子に憧れて頑張る姿、年下の子を優しくリードする姿など、子どもたちの生き生きとした表情がたくさん見られた一日となりました。

また、今回は新たな試みとして、これまでの子どもたちの日常や取り組みの過程を「ドキュメンテーション」をしおりにして事前にお伝えいたしました。

開催後には、連絡帳を通しても「しおりがあったので当日までの成長の過程がよく分かり、より感動しました」「異年齢で助け合う姿に胸が熱くなりました」といった温かいご感想やメッセージを多数いただき、職員一同大変嬉しく、励みになっております。お忙しい中、素敵なお声を寄せていただき重ねて御礼申し上げます。

行事という「結果」だけでなく、そこに至るまでの「プロセス（過程）」を大切にし、子ども自身が主役となって輝く姿をこれからも見守ってまいります。











